



侍ソランで540年祭を盛り上げる勝間田小学校の児童

住民・子孫らが勝間田氏を偲ぶ

■県指定史跡「勝間田城跡」540年祭

室町後期に滅亡した勝間田氏を鎮魂する県指定史跡「勝間田城跡」540年祭が11月13日、開催されました。

勝間田城跡では神事が、勝間田小学校体育館では静岡大学名誉教授の小和田哲男氏による「勝間田・相良・井伊氏の世界」と題した記念講演が行われました。

また、勝間田小学校5・6年生による侍ソランや尺八奏者の縄巻修巳氏による演奏会も行われ、540年祭を盛り上げました。

子どもから大人まで路上で熱戦

■商店街で綱引き大会

市商工会青年部が初めて企画した「商店街で綱引き大会」が11月13日、本通り商店街で開催されました。

小学生と中学生、一般の3部門に滋賀県や愛知県、浜松市など、市内外から計26チームが出場しました。大会は1チーム6人制で、予選リーグと決勝トーナメントで争われました。

青空の下、子どもから大人までが各部門で熱戦を繰り広げ、会場は来場者の大きな声援とたくさんの笑顔が広がりました。



大きな声援を受け競技する小学3年生チーム

元気と活力あふれる

■まきのはら産業フェア2016

まきのはら産業フェアが11月27日、市役所相良庁舎駐車場で開かれ、約16,000人が訪れました。

市内の事業所や各種団体、姉妹都市の長野県松川町、友好都市の熊本県人吉市や青森県三戸町などからも出店され、90ものブースで販売や展示を行いました。

また、会場では子どもが和菓子作りやアイス造りなどの職業体験を行う「マキノハラわくわくワーク」や、キッズダンスなどのステージイベントが行われ、多くの来場者でにぎわいました。



多くの来場者でにぎわう会場



重たいきねを振り上げ餅をつく児童

モチモチしておいしいね

■餅つき

坂部小学校の5年生16人が11月25日、餅つきを行いました。

エプロン姿の児童たちは、地域のボランティア団体「榛原里山の会」の指導のもと、事前に炊き上げられたもち米を重たいきねで「ヨイショ、ヨイショ」と大きな掛け声を出しながら餅つきを体験。つき終わったお餅は、みんなで協力しながらあんこ餅にし、全校生徒に配りました。

児童は「きねがすごく重くて大変だったけど、楽しかった」と話しました。



市内の景色や名所を巡りウォーキングを楽しんだ参加者

健康づくりと地域の魅力発見

■第2回まきのはらビタミンツデーウォーク

第2回まきのはらビタミンツデーウォークが11月26日、27日の2日間で行われました。

初日のコースは地頭方コース、2日目は相良コースのそれぞれ約7キロメートルと17キロメートルの2コースが用意され、約400人の参加者が自分の体力にあわせたコースでウォーキングを楽しみました。

コース中には、鈴木梅太郎博士の墓がある了見寺をはじめ市内の名所をいくつも巡り、参加者は健康づくりと地域の魅力を楽しみました。

また、途中の休憩所では、呈茶サービスなどのおもてなしを受けたほか、2日目のゴール地点である市役所相良庁舎では、まきのはら産業フェアが開催され、ステージイベントや地域の特産品など堪能しました。

海上安全を祈り練り歩く

■鹿島神社の御船神事

市指定無形民俗文化財「鹿島神社の御船神事」(川崎区)が、11月6日に行われました。

江戸時代後期から続く鹿島神社の例祭で、海上安全と無病息災を祈る神事です。

菱垣廻船の模型を鹿島の青年たちが担ぎ、掛け声に合わせて、威勢よく荒波を越えて航海する様子を表現しました。

また、菱垣廻船の模型に子どもを乗せると、病氣やけがをしないとも言われており、子どもと一緒に写真を撮るなどし、無病息災を祈りました。



掛け声に合わせて荒波を越えていく様子を表現する青年たち



幼稚園や保育園の園児の力作を見る来場者

芸術の秋市民の力作ずらり

■第11回牧之原市文化祭

第11回牧之原市文化祭が11月5日と6日、静波体育館や榛原文化センターなどで開催されました。

作品展の会場には、市文化協会会員をはじめ、日ごろ創作活動をしている市民や園児、小中学生、高校生らの絵画や書道、写真、俳句、水墨画など、多くの力作が展示され、活動の成果が披露されました。

また、茶会やお茶の手揉み実演、うすつゆ茶の試飲、囲碁・将棋大会なども行われ、来場者は芸術の秋を楽しみました。



広報担当がどこにでも取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎0052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp